

# airy

Association for International Relations in Yamagata

2022年12月

vol. 99



## 生け花教室(外国出身者向け)を開催しました

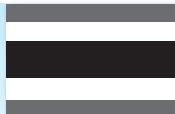
### 目次

<b>山形で働く外国人</b> : イムウィセット・ポーナライさん(タイ人・キックボクシングジム勤務・山形市)	2p
<b>国際交流関係団体へのインタビュー</b> : NPO法人いなか暮らし遊佐応援団(日本語教室など・遊佐町)	2p
<b>特集</b> : 県内の在住外国人人口/山形県外国人総合相談ワンストップセンター	4-5p
<b>お知らせ</b> : 出前講座のご紹介 など	6p
AIRYニュース、ちよこっとJICA	7p
山形県国際交流センター施設利用案内	8p

# 「山形で働く外国人」



子供にムエタイを指導する  
ポーナライさん(右手前)



タイ出身

イムウィセット・  
ポーナライさん

## ■どういう経緯で山形にいらっしゃったんですか?

現在山形市内でYs.k KICKBOXING GYMを経営する齋藤さんが、タイのムエタイジムへ練習にきました。齋藤さんと一緒に練習する中で、日本に対する興味がわいていたところ、齋藤さんから「今度の大会で優勝したら日本へ招待する」と言われました。優勝して日本に来たら、とてもいいところだと感じました。新型コロナの影響で一時帰国していましたが、山形の皆さんから援助や協力をいただき、今年の5月からまたこちらで活動しています。

## ■なぜムエタイを始めたのですか?

自分の父も兄もムエタイをしていたからです。タイではム

エタイ選手として成功すると、家族に楽な暮らしを送らせることができます。私は努力の結果、世界王者のタイトルを得ることができました。山形でもムエタイの普及に努めたいと考えています。

## ■現在はどんなお仕事をされているんですか?

ムエタイの選手兼指導者をしています。日本の国内外で試合を行うほか、齋藤さんのジムで指導をしています。10月に東京で試合を行い元日本王者相手に勝利しました。11月に大分県で日本王座に挑戦したあと、来年シンガポールで世界戦を予定しています。指導は好評を得ていますが言葉と文化の違いに戸惑うことが多いです。日本には空手やキックボクシングなど、いろいろなスポーツがありますが、ムエタイはそれらとは全く違った競技です。

## ■山形の生活はいかがですか?

優しい県民性がとても気に入っています。食事はタイの調味料を使って自炊していますし、齋藤さんとよく外食しますから、困っていることはありません。山形は牛肉がとてもおいしいと思います。四季があり、タイでは触れられない冬と雪が好きです。ちょっと寒いですけどね。

## 県内国際交流関係団体へのインタビュー

### NPO法人いなか暮らし遊佐応援団

事務局 後藤 真樹さん

## ■いなか暮らし遊佐応援団とはどういう団体ですか?

2015年に設立されたNPO法人で、役場と協力し、空き家の利活用や移住希望者の対応を行っています。また2017年からは国際交流事業も開始し、海外の姉妹都市との交流や遊佐町で暮らす外国出身者へのサポートを行っています。

## ■国際交流についてどんな活動をしていますか?

姉妹都市であるハンガリー・ソルノフ市との交流事業を行っています。約40年前、青年団の若者たちがハンガリー文化交流団を招き、民間交流を始めたのがきっかけでお付き合いが続いている。私も中学生の時にソルノフ市へ行きました。

また、学習希望者とボランティア講師をマッチングし日本語講座を行っているほか、ALT(外国語指導助手)を招き、英会話講座を運営しています。

他にも異国の文化に触れる音楽ライブや外国料理教室など、町民の国際交流や国際理解につながるイベントを実施しています。昨年は「遊佐町ワールドツアーア」を企画し、外国出身者6名(ブラジル、中国、ペルー、フィリピン及びベトナム)がガイド役して母国を紹介し好評でした。(写真)



## ■どんな理念や目的で活動しているのですか?

住民一人ひとりが住みやすい町づくりの推進と地域の活性化に寄与するという目的で活動しています。日本人や外国人、また移住者や長く住んでいる方を問わず、町の魅力に気付き、遊佐で楽しく暮らしていくよう、各種事業を行っています。活動の情報はFacebookや町の広報誌に掲載されていますので、是非ご参加ください。

## 災害時外国人支援連携体制整備事業

### 外国人向け防災体験会 地震・消火・119番 (9月)

山形市市民防災センターで外国人向け防災体験会を開催しました。県内で働く外国人や日本語を学んでいる方、そして外国人を雇用している企業の担当者が参加しました。

はじめに、地震の揺れが体験できる装置に乗って、震度1～6の揺れと、東日本大震災など実際日本で起きた地震（震度6強など）を体験しました。次に、消火器の使い方や、火事や事故が起きた時に連絡する119番通報を体験しました。山形市防災対策課より災害について説明を受け、災害が起きた時は公民館や学校に設けられる避難所に逃げることや、ハザードマップの見方などを学びました。

日本語は難しいけれど「覚えたい」と意気込む方もいて、みなさん真剣に参加されていました。



### 災害時外国人支援 サポーター育成研修 (10月)

山形県からの委託事業の一環で、災害時に外国人住民を支援する人材を育成するための研修を、東根市と新庄市で開催しました。

須藤伸子氏（公益財団法人仙台観光国際協会）を講師にお招きし、前半は災害時に外国人が困ることや、情報提供を手段に外国人に「安心」を届ける方法について学びました。事前の備えが大事で、「習慣や文化の違いを理解すること」「外国人住民と一緒に進め、ネットワークを作ること」が重要とのことです。

後半は災害時に使うことができる「やさしい日本語」について学び、避難所の掲示物をグループごとに作成しました。①伝えるべき情報を選び、②簡単な日本語に置き換え、③短い文（単文）で伝えることがコツだそうです。



## ハワイ山形県人会副会長の佐竹なおみさんがAIRYを訪問

ハワイ山形県人会副会長の佐竹なおみさん（やまがた特命観光・つや姫大使）が、7月にAIRYへいらっしゃいました。

佐竹副会長は約30年前ハワイへ移住され、現在はハワイ山形県人会の中心的な立場で活躍されています。「ハワイにいるととてもリラックスし、体中の細胞が生き生きする。大変良いところなので山形の皆さんも是非ハワイにいらしてください」とおっしゃる姿が印象的でした。

ハワイ山形県人会は会員同士の友好と相互扶助、また日米友好関係の促進のため設立され、ハワイにおいて花笠音頭、芋煮会、映画祭など、幅広く活動されています。今後も山形とハワイの懸け橋として、より一層のご活躍をお祈り申し上げます。



佐竹副会長（前列右から2番目）

## 県内在住外国人意見交換会

県内在住の外国出身者や支援者が生活・教育・仕事などについて語り合い、課題などについて意見交換することを目的とし、「県内在住外国人意見交換会」を9月に開催しました。参加者からの主な意見は次のとおりです。

### <生活について>

- ・子供が成長して行くにつれ、入園や進学などが心配になる。
- ・コンビニや電車・バスで電子マネーを使えるようになって便利。
- ・山形は都会より生活費がかからないので生活しやすい。



### <仕事について>

- ・コロナ禍で失業したが、新しい仕事を見つけて働いている。
- ・アルバイトをしていたが、店がなくなり、辞めざるを得なかった。

### <日本語について>

- ・会社で日本語が通じないとき、同僚から教えてもらい助かっている。
- ・週末仕事がないときに、日本人のボランティアが日本語を教えてくれるのでありがたい。

## 特集1

# 県内の在住外国人人口



令和3年12月末時点の外国人人口は7,331人で、令和2年12月末と比較して386人(5.0%)減となりました。県の総人口に占める外国人人口の割合は0.70%で、前年(0.73%)と比較して大きな変化はありません。

内訳を国籍別でみると、中国が1,864人で全体の25.4%を占め、以下、ベトナム1,771人(24.2%)、韓国1,369人(18.7%)、フィリピン835人(11.4%)と続いており、これらアジア4か国だけで全体の79.7%を占めています。前年との比較ではネパールの増加(25人、23.6%の増加)が目立ちます。

在留資格別でみると「永住者」が3,029人で全体の41.3%を占め、以下、「技能実習」1,698人(23.2%)、「技術・人文知識・国際業務」465人(6.3%)、「特定活動」が390人(5.3%)などとなっています。前年との比較では、「技能実習」が648人、「永住者」が21人、「留学」が11人減少し、新型コロナウイルス感染症による入国制限の影響がみてとれます。

県内在住外国人【国籍別】

国籍	R2(人)	R3(人)	構成比(%)		対前年比(人)	対前年増減率(%)
			(人)	(%)		
中国	2,018	1,864	25.4	△154	△7.6	
ベトナム	1,855	1,771	24.2	△84	△4.5	
韓国	1,433	1,369	18.7	△64	△4.5	
フィリピン	856	835	11.4	△21	△2.5	
インドネシア	240	200	2.7	△40	△16.7	
米国	155	164	2.2	9	5.8	
ネパール	106	131	1.8	25	23.6	
タイ	146	128	1.7	△18	△12.3	
台湾	114	111	1.5	△3	△2.6	
ミャンマー	98	81	1.1	△17	△17.3	
ブラジル	78	78	1.1	0	0.0	
インド	53	62	0.8	9	17.0	
その他の国々	565	537	7.3	△28	△5.0	
総数	7,717	7,331	100	△386	△5.0	

県内在住外国人【在留資格別】

在留資格	R2(人)	R3(人)	構成比(%)		対前年比(人)	対前年増減率(%)
			(人)	(%)		
永住者	3,050	3,029	41.3	△21	△0.7	
技能実習	2,346	1,698	23.2	△648	△27.6	
技術・人文知識・国際業務	376	465	6.3	89	23.7	
特定活動	255	390	5.3	135	52.9	
日本人の配偶者等	395	386	5.3	△9	△2.3	
留学	271	260	3.5	△11	△4.1	
特別永住者	250	242	3.3	△8	△3.2	
家族滞在	202	231	3.2	29	14.4	
定住者	196	190	2.6	△6	△3.1	
教育	106	109	1.5	3	2.8	
特定技能	25	107	1.5	82	328.0	
技能	80	72	1.0	△8	△10.0	
上記以外の在留資格	165	152	2.1	△13	△7.9	
総数	7,717	7,331	100	△386	△5.0	

(データ:山形県みらい企画創造部国際人材活躍・コンベンション誘致推進課)

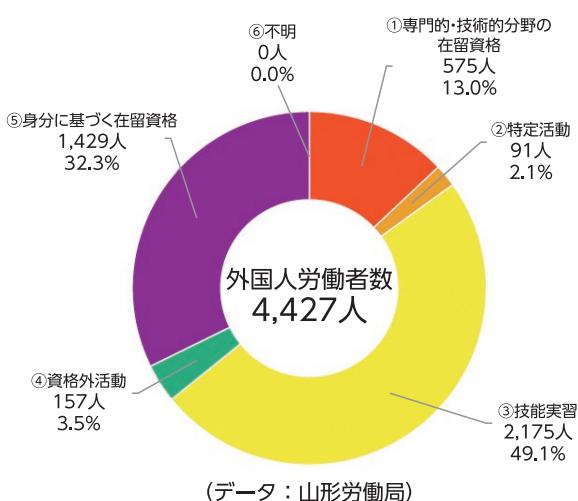
次に、山形労働局の「外国人雇用状況(令和3年10月末現在)」により、外国人労働者数についてみてみます。

山形県の外国人労働者数は4,427人で、前年同期比317人、6.7%の減少(平成24年以来、9年ぶりの減少)となっています。また、外国人労働者を雇用する事業所数は1,072か所で、前年同期比38か所、3.7%の増加となり、平成19年に届出が義務化されて以降、過去最高の事業所数を更新しました。

国籍別では、ベトナムが最も多く1,721人(外国人労働者数全体の38.9%)。

次いで中国968人(同21.9%)、フィリピン519人(同11.7%)、韓国291人(同6.6%)の順で、4か国計で3,499人(同79.0%)。在留資格別では、「技能実習」の労働者数が2,175人(全体の49.1%)で最も多く、次いで「身に基づく在留資格」(永住者、日本人の配偶者など)の労働者数で、1,429人(同32.3%)となっています。

新型コロナウイルス感染症による入国制限が緩和され、在住外国人の増加が見込まれる中、言語などの違いによる不安がなく、地域社会の一員として安心して生活し、まちづくりや地域づくりに主体的に参加できる環境を整備するため、NPOや国際交流団体、企業、市町村など様々な主体が多文化共生の地域づくりに向け情報を共有し、連携・協働する態勢づくりが必要とされています。



## 特集2

# 山形県外国人総合相談ワンストップセンター

改正「出入国管理及び難民認定法」の施行に伴い、今後、外国人の増加が見込まれることから、外国人も暮らしやすい環境づくりを推進するため、在住外国人などの生活に関する適切な情報を的確に提供できるよう、ワンストップで情報提供・相談を行う一元的相談窓口である「山形県外国人総合相談ワンストップセンター」を平成31年4月から運営しています。

## 1. 外国人相談窓口

在住外国人の生活面での支援を行うため、7言語に対応する相談員を配置し、出入国・在留資格、語学学習、教育問題、家庭問題など様々な相談に電話・面接・Eメールなどで応じています。また、7言語以外の言語については、ポケットタブ、通訳アプリなどを活用し相談に対応しています。

対応言語	開設日	開設時間
日本語	火～土	10:00～17:00
英語		
中国語	火・金	
ポルトガル語	水	
韓国・朝鮮語	木・土	10:00～14:00
タガログ語	金	
ベトナム語	第2・4土	

## 2. 企業向け外国人相談窓口(毎週火～金曜日 10:00～16:00)

県内企業の外国人労働者の雇用を支援するため、山形県行政書士会と連携し、県内企業からの外国人労働者に関する相談に電話・面接・Eメールなどで応じています。また、市町村及び各地域商工団体へ訪問し、相談窓口の周知活動を行っています。



## 3. 専門機関との連携

ワンストップセンターへ寄せられる様々な相談に専門的な知識から対応するため、山形県弁護士会、仙台出入国在留管理局及び山形県行政書士会と連携しています。

種別	開催日時	連携先	対象
外国人向け 法律相談	毎月第4金曜日 10:00～12:00	山形県 弁護士会	山形県在住又は勤務の外国出身の方
仙台出入国在留 管理局の相談会	偶数月第3金曜日 10:00～12:00	仙台出入国 在留管理局	山形県在住又は職場が県内の方
行政書士会 相談会	毎月第2水曜日 13:00～16:00	山形県 行政書士会	山形県内の企業

## 4. 相談内容及び件数(令和3年度実績)

### (1) 外国人相談窓口

相談内容別でみると「生活一般」、「出入国・在留資格」、「他の機関への紹介」と続いている。「生活一般」には、近況報告や母語での話し相手を求めての相談が含まれ、身近な話し相手が見つからず孤立している在住外国人の存在が伺えます。全体としては、生活の困窮や住まいに関すること、DV関係相談など、関係機関との連携が必要な相談が続きました。コロナ禍においての出入国在留関連については、パスポート更新、出入国時の手続きに困っている方からの相談などが多くありました。

項目	内 容	件数
生活一般	話し相手・住居・公共サービスなど	112
出入国・在留資格	在留資格・ビザ・パスポートなど	62
他の機関への紹介	各相談窓口・弁護士・大使館／領事館など	60
医療	医療機関紹介・病気への対応など	47
通訳・翻訳・語学学習	通訳・翻訳・日本語学習など	44
家庭・戸籍	戸籍・婚姻・家族関係・相続など	36
社会保障制度	健康保険・児童手当・年金・税金など	23
教育	教育・学校問題・研修留学・保育園など	20
労働・就職	労働条件・労働災害・求職活動など	17
交通・運転免許	運転免許・自動車学校・交通事故など	5
計		426

### (2) 企業向け外国人相談窓口

外国人を雇用する際の手続き、在留資格の取得手続きなどについて相談に応じています。昨年度は在留資格、雇用前相談、資格取得や支援施策についての相談が多く寄せられました。コロナにより帰国できなかった外国人労働者(技能実習生など)について在留資格の変更が必要だったこと、また企業側としてはこれまでと異なる在留資格で働く外国人を雇用する機会があったことが伺えます。

なお、当窓口で人材の紹介は行っていないため、相談があった場合は連携機関にお繋ぎしています。

項目	内 容	件数
在留資格	在留資格の取得・変更手続き	17
雇用前相談	外国人の雇用手手続き・雇用制度	7
資格取得や支援施策	雇用維持支援・補助金・助成制度	5
日本語学習支援	日本語教室・日本語能力試験	4
通訳や翻訳	翻訳・多言語資料の紹介	2
センターの業務内容	提供するサービスの内容	1
その他	人材紹介・取材など	12
計		48

## 5. 活用事例



### (1) 外国人相談窓口

「新型コロナウイルスに感染した外国の方がいるが、日本語があまり通じないため困っている」と関係機関から相談がありました。担当言語の相談員が感染した方に連絡し、関係機関からの指示などを詳しく伝えました。その後も何回か電話でやりとりし、外国の方と関係機関の迅速なコミュニケーションをサポートしました。



### (2) 企業向け外国人相談窓口

初めて外国人の雇用を検討している企業より相談を受け、連携している山形県行政書士会をご紹介しました。行政書士会の国際関係業務特別委員が、外国人労働者を雇用している企業の事例や雇用の留意点などについて説明しました。また、社内における受け入れ態勢構築のため、当協会の「やさしい日本語」出前講座をご提案しました。

# 出前講座のご紹介

AIRYではスタッフなどによる出前講座を行っております。  
是非気軽にお問合せください。

名称	国際理解 	やさしい日本語 	外国人雇用 
講師	イギリス、アメリカ、韓国出身の国際交流員（CIR）	協会スタッフ	協会スタッフ及び山形県行政書士会 国際関係業務特別委員会委員長
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生向け…各国の簡単なゲーム、学校の違い、昔話</li> <li>高校生向け…多文化社会、男女交際、偏見</li> <li>大人向け…習慣や儀式 など</li> </ul>	「やさしい日本語（外国人などにもわかるように配慮して、簡単にした日本語）」を使うためのポイントや実践のコツ など	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国人労働者の適切な雇用のための助言及び連携機関の紹介</li> <li>雇用や就労環境等整備に関する助成金などの紹介 など</li> </ul>
所用時間	1回60分～90分程度	応相談	1回30分～90分程度
派遣先	学校や公民館など	県内自治体、産業、防災、福祉、町内会、企業など	県内自治体、経済商工団体、企業組合、社会福祉／奉仕団体、企業など
謝金	不要	原則無料	
旅費	会場までの旅費は申込団体で負担をお願いします		
問合せ	県国際人材活躍・ コンベンション誘致推進課 TEL：023-630-2129	山形県国際交流協会 TEL：023-647-2560	外国人総合相談 ワンストップセンター企業向け相談窓口 TEL：023-645-7600

## 民間国際交流団体活動推進支援助成事業～地域の国際化に資する国際交流を行う民間の団体に対し助成を行っています～

### ■令和4年度採択団体（申請順）

団体名	所在地	事業名
山形スペイン友好協会	山形市	ネイティブから学ぶスペイン語の世界
山形南ロータリークラブ	山形市	創立50周年記念講演
人財育成推進・確保対策協議会	新庄市	多文化共生推進事業
在山形ベトナム人協会	山形市	在留外国人のヤマガタ発見・体験事業
NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄	新庄市	世界の料理を楽しもう

### ■採択団体の活動紹介【山形南ロータリークラブ】

創立50周年記念講演「COOL JAPAN 山形を語る」において、山形在住の外国の方々4名を招き、会員とのパネルディスカッションを開催しました。



## 賛助会員として、協会活動にご協力を！

AIRYでは協会の目的に賛同し、協会事業を支えてくださる会員を募集しています。年会費は個人1口3,000円、学生（高校生以上）1口1,000円、団体1口10,000円です。会員の特典として、協会実施の講座などを優先的にご案内するほか、参加費が減免されます。また、協会実施の有料講座に参加される場合、個人／学生会員の皆様に対し、指定駐車場の駐車料金を一部助成しています。

令和4年度は入会促進キャンペーンとして、個人／学生会員が新規入会申し込みを行った場合、特典の適用期間が最大約3か月延長されます。

その他にも様々な特典がありますので、是非お気軽に問い合わせください。

いろいろな楽しい講座を開催しています



## KIRAグローバルセミナー

## 『ワールドカフェ in かほく～ベトナム編～』を実施しました

山形大学留学生のドゥアン・ミン・ハオさんとグエン・ティ・AINさんを講師に迎え、ベトナムの文化や歴史などを楽しく学ぶセミナーを河北町国際交流協会との共催で実施しました。

最初にAINさんがベトナムの地理、料理と文化についてプレゼンテーションを行い、次にハオさんが、歴史、経済と言語について説明しました。最後にベトナムのお菓子などを参加者へ配布し、「東西南北」というベトナムのゲームを皆で楽しみました。

参加者からは「ベトナムの歴史・教育・言語のことなど、よく分かりました」「ベトナムの若い方が自国の歴史をしっかり勉強していること、また国の発展に貢献したいという意識が高いことに感銘を受けました」「ゲームも大変面白かったです」などの感想が寄せられました。AINさん、ハオさん、素敵なお時間をありがとうございました。



ベトナムのゲームを楽しむ

## Discover Yamagata 2022

## 『県内在住外国人やまがた魅力体験・発信バスツアー』

山形県国際人材活躍・コンベンション誘致推進課では、“Discover Yamagata 2022”『県内在住外国人やまがた魅力体験・発信バスツアー』を実施しています。

このツアーでは、県内で働く外国人の方々が、初夏のさくらんぼ狩り、夏でも雪が残る月山、秋の芋煮会など、季節毎の本県の魅力を体感し、国内外へ発信することで、参加者や母國の方々に本県のファンになっていただき、外国人材の受入拡大に繋げることを目的としています。

ツアー参加者からは、「山形がさらに好きになった」「山形の美しい自然や美味しい食べ物、伝統文化を広めたい」など、たくさんの高評価をいただき、中には、SNSへ9回投稿してくださった方もいました。

次回のツアーは、2023年1月に実施予定です。



第1回バスツアーのさくらんぼ狩り会場(仲野観光果樹園)にて

ちょこっと

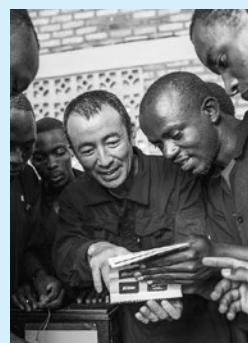
JICA

国際協力推進員コーナー

### [JICA海外協力隊(短期派遣) 2022秋募集 受付中]

募集期間:2022年12月16日～2023年1月12日

JICAボランティア事業は日本政府のODA(政府開発援助)により、JICA(独立行政法人国際協力機構)が実施する事業です。開発途上国からのニーズ(要請)に基づき、それに見合った技術・経験・知識を持ち「開発途上国の人々のために活かしたい」という方を募集・選考・訓練を経て派遣しています。「長期派遣」が通常2年間の派遣であるのに対し、1ヶ月～1年未満の期間での派遣を「短期派遣」としています。2022年度短期派遣の募集(派遣時期:2023年度夏以降)詳細はJICA海外協力隊ウェブサイトでご確認いただけます。JICA海外協力隊事業に興味・関心をお持ちの方はお気軽にJICA山形デスクまでお待ちしております。



JICA  
海外協力隊HP



★JICAでは学校現場における開発教育を推進する事業を行っています。  
お気軽にお問合せください。

JICA 山形デスク

☎023-646-6267

✉jicadpd-desk-yamagataken@jica.go.jp

# 山形県国際交流センター 施設利用案内

山形県国際交流センターは、国際交流活動の一層の活発化を図るため、県の指定を受けて当協会が管理運営を行っています。霞城セントラル（山形駅直結）の2階にあり、月曜・祝日・年末年始を除く、火曜日から日曜日（9:30～18:00）まで開館しております。どうぞお気軽にお越しください。

## <交流サロン>

利用者が談話や意見交換、打ち合わせなどを行うことができるスペースです。外国語・日本語の図書・新聞・雑誌をそろえています。

### 図書・各種資料

英語・中国語・韓国語・フランス語・スペイン語などの蔵書があります。また、多文化共生に関する書籍（在住外国人支援、日本語教育、外国人児童生徒の学習支援など）、海外ボランティアなど国際協力に関する資料、海外留学に関する資料などもあり、館内で自由に閲覧することができます。一部の本を除き、簡単な手続きで1か月まで借りることができます。



### パソコン・ビデオ・DVD

インターネット接続のパソコンが利用できます。また、外国紹介などのビデオ・DVDを視聴することができます。

## <研修室 A・B>

国際交流・国際協力に関する会議や研修会、イベントの会場として研修室の貸出しを行っています。研修室Aは30名、研修室Bは40名収容可能で、A・Bを繋げれば80名収容の会場としても使用できます。プロジェクター、音響設備を無料で使うことができます（事前の申し込みが必要です）。団体賛助会員は利用日の3か月前から、一般の方は2か月前から利用申請を受け付けています。



## <ボランティア室>

国際交流・協力に関する団体が、活動の打合せ、勉強会、作業などを行う際に、無料で利用することができます。事前のお申し込みは必要ありませんが、使用前に事務所スタッフにお声掛けの上、使用簿への記入をお願いします。利用の際は、ボランティア室に掲示してある「ボランティア室の利用について」をよく読み、ルールを守ってお使いください。

また、当協会の団体賛助会員、国際交流サポーター関連団体にボランティア室のロッカーをお貸ししています。（写真奥）ロッカーの使用は無料です。



### 山形県国際交流センター

開館時間 9:30～18:00

休館日 月曜、祝日、年末年始

山形市城南町一丁目1-1  
霞城セントラル 2階

TEL : 023-647-2560

FAX : 023-646-8860



是非ご利用  
ください。

